

プライベートクラウドにおける通信品質の見える化

自社データセンタサービスの品質評価に貢献

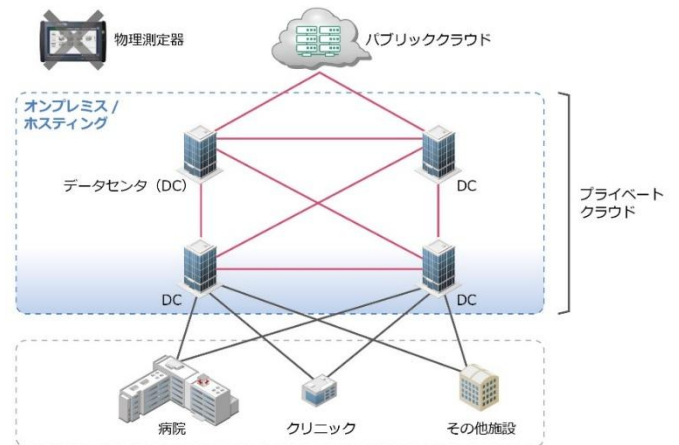
Virtual Network Master for KVM MX109031PC
ネットワークマスタ プロ MT1000A / MT1040A



プライベートクラウドのネットワーク品質評価の課題

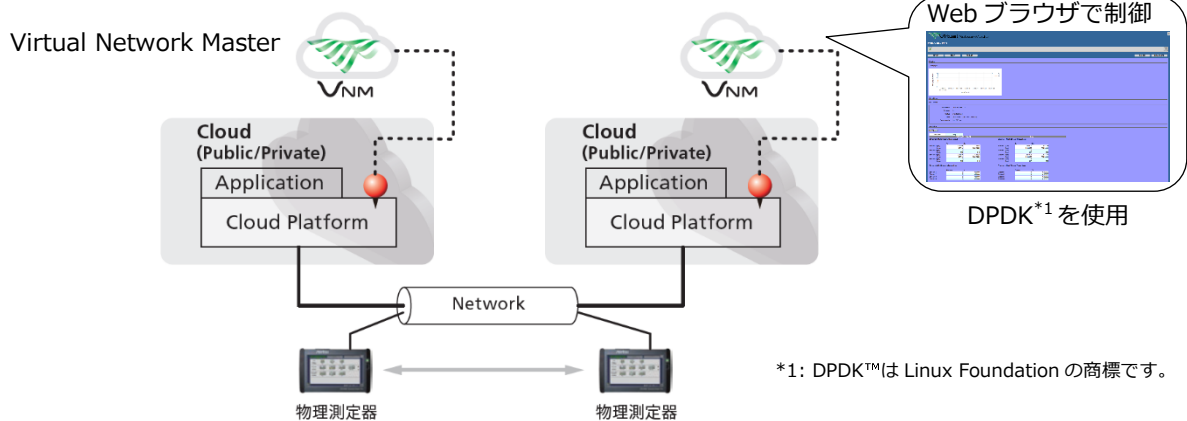
医療や金融のシステムでは、高い可用性と安定性が求められているため、プライベートクラウドでの運用が一般的です。障害時のシステム退避や無停止運転、冗長化を実現するため、複数のデータセンタ(DC)内でKVMなどのサーバ仮想技術が必須となっており、サービスレベルでの性能担保が重要となっています。

一方、仮想環境では物理測定器の設置が難しく、従来のPingなどソフトウェアベースの簡易的な通信品質評価では、正確な特性を把握しきれないという課題があります。



仮想化基盤に定量的な測定環境を提供

Virtual Network Master (VNM)は、こうした課題に対応する新しいソフトウェアベースの測定器です。片方向遅延やフレームロスなどの測定項目を仮想基盤上から定量的に評価できます。仮想レイヤを含めたネットワーク通信品質を可視化することができます。

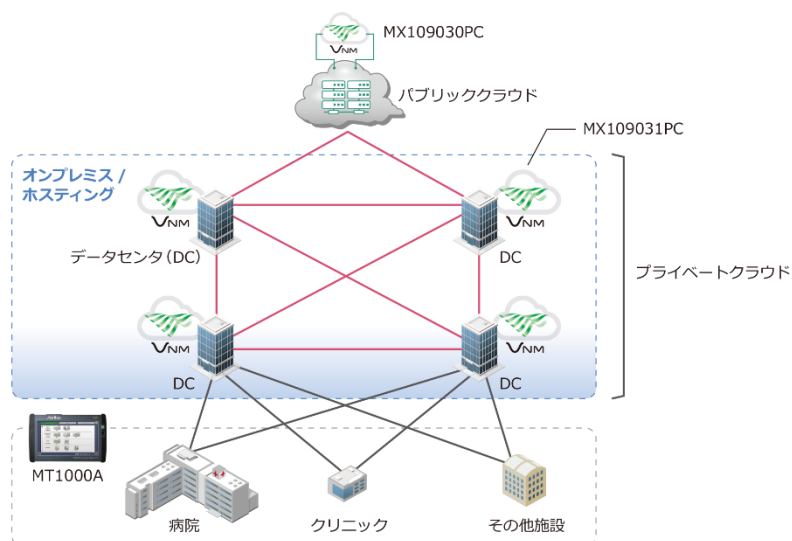


*1: DPDK™はLinux Foundationの商標です。

ユースケース

医療系エンタープライズにおける通信品質の可視化

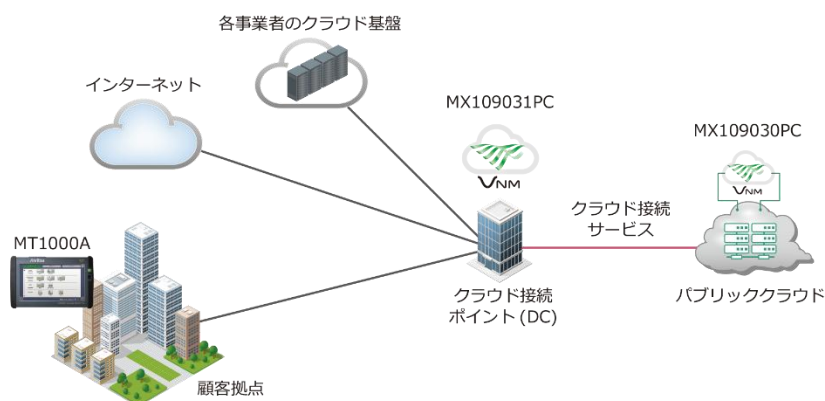
医療系エンタープライズでは、電子カルテをはじめとする業務システムをプライベートクラウドで運用しており、通信障害の影響が医療サービスに直結します。そのため、医療サービスには高い可用性・冗長性・BCP 対応が求められ、複数 DC を相互接続し、KVM などの仮想化技術を用いた運用が必須となっています。さらに、DC 間や DC－クラウド間の接続が進む中、通信品質を継続的に可視化することが不可欠です。MX109031PC を自社管理の KVM 仮想環境上に導入することで、DC 間・DC-クラウド間の通信品質を本番に近い条件で把握し、安定運用と迅速な障害対応を支援します。



クラウド接続サービスの通信品質の可視化

法人向けネットワークサービスなどのさまざまなサービスにおいてクラウド利用が一般化し、パブリッククラウドや各種クラウド基盤への接続サービスが広く利用されています。一方、サービス利用者は顧客拠点からクラウドサーバまでを含めた E2E の通信品質を求めており、クラウド接続サービス提供会社には、接続ポイントからクラウドまでの通信品質を数値に基づいて客観的に示すことが求められています。

MX109031PC をクラウド接続ポイントの DC に配置することで、DC-クラウド間の通信品質を可視化し、責任区間の明確化と迅速な障害切り分け、顧客への根拠ある説明を支援します。



オーダリングインフォメーション

型名	品名	備考
MX109031PC	Virtual Network Master for KVM	MX109031PC-TL003 か MX109031PC-TL011 が必要です。
MX109031PC-TL003	3 Months License	
MX109031PC-TL011	1 Year License	